

やどりき水源林ニュース

発行(公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

新緑の美しい季節になりました!



沢音に誘われて水辺に降りてみると、新緑のトンネルが続いていました。この時期、ヒメウツギ、ウワミズザクラなどの白い花が目立ちますが、よく見ると小さい花やユニークな花も!



ヒメウツギ

ウツギの中で最初に咲きます。道の側壁、岩地などで見かけます。



マルバウツギ

ヒメウツギの次に咲くのがマルバウツギ。つぼみが膨らみもうすぐ開花。



ウワミズザクラ

枝先にブラシのような総状花序を出し、白い小さな花をたくさんつけます。



イロハモミジ

花言葉:「遠慮、自制」。秋のスターも、春はいたって謙虚。



ハナイカダ

葉の上に花が咲くハナイカダ。雌雄異株でこれは雌株。実は夏に黒く熟す。



コナラ

風に揺らぐコナラの雄花。雌花は新枝上部の葉のわきに出るが、ごく小さい。

水源林を調査、保全、啓発する取り組み

かながわ森林インストラクターの会は、やどりき水源林で植物・動物・土壌水生生物を調査し、動植物の保全や一般の方々への情報提供、水源環境を啓発する取り組みを行っています。

動物班

水源林内の昆虫・爬虫類・両生類・鳥類・哺乳類の定期観察を行っています。

【活動例】

ムササビ・モモンガの巣箱を制作し、林内の十数か所に設置しています。すでに多くの巣箱が利用されています。

センサーカメラによる調査では、イノシシ、リス、タヌキ、テン、シカなどが観察されています。右の写真は、イノシシをとらえた動画の一部です。夜は森の本来の住人が闊歩しています。

ムササビ・モモンガの巣箱設置



センサーカメラによる調査



植物班

水源林の植生調査により、森の案内人活動など各方面への情報提供、情報蓄積の充実向上を目指しています。

【活動例】

1. 会員の自己研鑽への支援
2. 「やどりきの森へ行こう」への参画
3. コース案内マップの充実
4. フォッサマグナ要素の植物など、この地域特有の植生の調査



定点観察地点での調査



踏まれないように枯れ枝で保護

土壌・水生班

水源林の裏方・縁の下の力持ち、土壌生物、水生生物の調査活動を行っています。

「水源林の集い」や各種イベントでは、水生生物観察を楽しんでもらっています。



啓発活動

班活動などで集めた情報は、掲示板・チラシ・水源林ニュースなどで一般の皆さんへの提供を行っています。

右の写真は、やどりき水源林管理棟前にある掲示板で、「森の案内人」が、水源林ニュースを、最新のものに取り換えている様子です。



5月のトピックス

5月の水源林は、沢からはカジカガエル、林内からはオオルリなど南の国からやってきた鳥の鳴き声が聞こえ、大変にぎやかです。



6月の水源林

樹木は春から夏の初めにかけて成長します。年輪の白く見える部分がこの時期の組織です。梅雨の雨を受け、水源林の樹木は生き生きと成長していきます。

